

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

特別養護老人ホーム緑風園

目 次

平成30年度 社会福祉法人登別千寿会 事業報告	1～2
1. 理事会開催状況	1
2. 評議員会開催状況	2
入所者の処遇	3～5
(1) 生活援助・相談	3
(2) 個別処遇	3
(3) 給食サービス	3
(4) 医療サービス	3
(5) 入浴サービス	3～4
(6) リハビリテーションの実施	4
(7) レクリエーションの実施	4
(8) クラブ活動の実施	4
(9) 災害・事故防止	4
(10) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施	4
(11) 「家族通信」の発刊（毎月）	5
(12) ホームページでの情報提供	5
<資料 1> 1. 在所者の人数	6
<資料 2> 2. 在所者の年齢階層	6
<資料 3> 3. 在所者の在所期間	6
<資料 4> 4. 在所者の心身状況（要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者）	6
<資料 5> 5. 在所者の要介護度	7
<資料 6> 6. 新規入所者の入所前居所	7
<資料 7> 7. 各月初日現在入所者数	7
<資料 8> 8. 施設監査等の状況	8
<資料 9> 9. 職員研修・各種講習会・諸会議への参加状況	8～9

平成30年度 社会福祉法人登別千寿会 事業報告

本会の会務運営並びに本会設置運営に係る特別養護老人ホーム（指定介護老人福祉施設）並びに短期入所生活介護（予防含む）（ショートステイ）緑風園の事業実施状況につき、次のとおり報告致します。

1. 理事会開催状況

◇H30. 6. 5 (火) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第 1号 緑風園運営状況について
- ・報告第 2号 定期監査の報告について
- ・報告第 3号 平成29年度事業報告について（特別養護老人ホーム緑風園、デイサービスセンター緑風園、緑風園居宅介護支援事業所）
- ・議案第 1号 平成29年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部会計区分、介護老人福祉施設会計区分、短期入所生活介護会計区分、通所介護会計区分、居宅介護支援会計区分）決算認定について（※決算内容説明並びに決算審査（監査）報告含む。）

◇H30. 11. 27 (火) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第 4号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 5号 定期監査の報告について
- ・報告第 6号 平成30年度上半期（4～9月）の収支状況について
- ・議案第 2号 評議員選任・解任委員の選任について

◇H31. 3. 28 (木) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第 7号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 8号 定期監査の報告について
- ・議案第 3号 平成30年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部、特養、デイ）第一次補正予算（案）並びにニナルカの里拠点区分（特養、居宅）第一次補正予算（案）について
- ・議案第 4号 平成31年度事業計画（案）について（（特養・ショート）緑風園、デイ緑風園、（特養・ショート）ニナルカの里、緑風園居宅）
- ・議案第 5号 平成31年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部、特養、デイ）当初予算（案）並びにニナルカの里拠点区分（特養、居宅）当初予算（案）について

2. 評議員会開催状況

◇H30. 6. 19 (火) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第 1号 緑風園運営状況について
- ・報告第 2号 定期監査の報告について
- ・報告第 3号 平成29年度事業報告について（特別養護老人ホーム緑風園、デイサービスセンター緑風園、緑風園居宅介護支援事業所）
- ・議案第 1号 平成29年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部会計区分、介護老人福祉施設会計区分、短期入所生活介護会計区分、通所介護会計区分、居宅介護支援会計区分）決算認定について（※決算内容説明並びに決算審査（監査）報告含む。）

◇H30. 11. 29 (木) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第 4号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 5号 定期監査の報告について
- ・報告第 6号 平成30年度上半期（4～9月）の収支状況について
- ・報告第 7号 評議員選任・解任委員の選任について

◇H31. 3. 29 (金) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第 8号 緑風園並びにニナルカの里運営状況について
- ・報告第 9号 定期監査の報告について
- ・議案第 2号 平成30年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部、特養、デイ）第一次補正予算（案）並びにニナルカの里拠点区分（特養、居宅）第一次補正予算（案）について
- ・議案第 3号 平成31年度事業計画（案）について（（特養・ショート）緑風園、デイ緑風園、（特養・ショート）ニナルカの里、緑風園居宅）
- ・議案第 4号 平成31年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部、特養、デイ）当初予算（案）並びにニナルカの里拠点区分（特養、居宅）当初予算（案）について

利用者の処遇

(1) 生活援助・相談

介護保険の理念である自立の促進に努めると共に利用者の自由と自主性を尊重し、個人的問題、相互関係、共同生活上の諸問題について、相談・助言を行うと共に、利用者と職員の懇談会を行う等、利用者の全体的問題、ニーズを把握し、意見・要望を日常生活に反映するように努め、ホームの生活に新たな生きがい・希望・喜びを見いだせるよう職員一同、万全の対策を施すことに努力してきた。

同時に「脱集団処遇」をスローガンに、それぞれの利用者の個別ニーズに対応する為、施設のケア体制を「グループケア方式」に変更し、個人の生活スタイルに合わせた生活の構築ができ得るスーパービジョンを実施している。

(2) 個別処遇

個別のケアプランについては、MDS-LAPS 2. 1を用いて作成し、その実施にあたった。そして定期的にモニタリングを行いながら、ケアカンファレンスを開催し、利用者の意見も採り入れ、より質の高いサービスの実施に努めると共に、本人又は、家族にもプランを公表し、広く実施の同意を得てきた。尚、状況変化以外の定期的なプランの見直しは半年毎に行っている。

(3) 給食サービス

平成27年8月より日清医療食品㈱との給食業務委託契約を結び、給食サービスを外部委託したことにより、嚥下状態が悪い利用者に対して、食材をペースト状にし、形成したソフト食を提供できるようになり、出来る限り経口摂取で食事を楽しんでもらえるようになった。

更に、「あたたかいものは、あたたかいうちに」「冷たいものは、冷たいままに」という配慮から、様々な工夫を凝らすと共に、野外食（夏期）、鍋の日（冬期）等で出来立てのものを食べられる機会を多く設ける等、個々のニーズに対応できるように多くの機会に二重献立を実施している。又、日本各地のご当地メニューやお楽しみ昼食会を月1回実施し、利用者の希望する献立や他職員が提案した献立により、楽しんで食事をとって頂ける機会を作っている。又、毎月1回の給食会議を行い、利用者の嗜好・意見等に沿った献立に反映させるように努めている。

以上は、管理栄養士及び委託先の栄養士共同による月間予定献立により、カロリー・栄養価を十分に配慮して行われているが、時には身体の状況、疾病等により医師の指示に基づく特別食も実施している。

(4) 医療サービス

利用者の健康を保障する医療サービスについては、協力病院である三愛病院との医療業務委託契約により定期的な回診（精神科医師、内科医師）、必要に応じ随時、歯科医師の往診等の連携のもと、入園時健診や事業計画に基づく、心電図、採血、尿検査等を行うと共にそれ以外にも緊急時等、医師の指示により適切かつ必要な処置を行い、利用者個々の状況把握と適切な処置に、尚一層努めている。又、看取り介護となった場合は、利用者の身体的・精神的苦痛を少しでも和らげられるように対応することに努めている。

(5) 入浴サービス

現在、当園では、毎日を入浴日とし、特浴、中間浴、一般浴等の方法で一人最低週2回の入浴を実施する他、随時清拭により、利用者の清潔保持に努め、褥瘡防止と快適な生活を送られるよう配慮している。

平成15年度に整備しました温泉浴室「千寿の湯」を有効利用し、温泉入浴という一層充実した入浴サービスを行い、又、平成15年度の車椅子浴室の増設、平成18年度と平成24年度の特種浴槽装置とADL入浴装置の更新により、更なる入浴サービスの向上に努めた。

(6) リハビリテーションの実施

当園でのリハビリは、『不自由な手や足』へ対するものではなく、『不自由な手や足を持つ人間そのもの』へ対するものだとの考えから、理学療法、作業療法のみならず日常生活全般にわたる働きかけの中で、臥床状態からの脱皮、身体機能減退のスローダウン、精神的な自主性回復に取り組んでいる。

又、回想法による認知症予防、療育音楽の導入、遊びりテーションの実施等で楽しみながら健康づくりを行ってきた。

(7) レクリエーションの実施

毎月個人の誕生日に一人一人の誕生日を祝っている。又、その際に葉書等で家族へも参加を促している。又、季節感を十分取り入れた行事を実施し、生活の単調化に変化を持たせると共に、利用者の参加の意欲を啓発し、日々の生活が張りのあるものになることに努めてきた。又、ボランティアとの交流や近隣名所見学等による地域社会との交流を深め、利用者が社会的存在としての立場を感じ得るように努めている。又、これらの行事も全体で集団的に行う行事から、個人の希望に沿った小単位のレクリエーションや行事の実施へと変換させている。

又、屋外ログハウス風大ステージを利用し、夏期の行事は北海道の短い夏を有効に過ごすべく、屋外行事を多く取り入れて行った。

さらに、外出行事を多く組み入れ、利用者の外出機会の確保に努めてきた。

(8) クラブ活動の実施

日常生活の中の趣味の活動を推奨すると共に、作業療法の側面も含め、書道（坂本義昭先生）、華道（長尾千代先生）並びにカラオケのクラブ活動を推進してきた。

(9) 災害・事故防止

当園は、全館のドアを全て非常警報と連動した電気錠とすると共に、ナースコールの受信をPHSで行える設備、テンキーによる防火ドアの開閉装置等、防災と防犯、利用者の安全確保の為に最新技術を導入する等と併せて、防災訓練を定期的に行い、利用者のより快適で安全な暮らしを保証するよう努めた。

平成30年9月6日発生の北海道胆振東部地震の時は、全館停電となったが、2012年11月の暴風雪による大停電の時の体験を活かし、非常災害時の発電機のリース契約を締結していたことにより、9月6日夕方には、ナースコールやボイラーなどの最低限の電源を確保でき、迅速な対応ができた。

また、厚真町の特別養護老人ホーム豊厚園が甚大な被害を受けたことにより、9月7日から平成31年1月30日までの間、2名の利用者を豊厚園より緊急で受け入れた。

(10) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施

平成12年4月1日よりスタートした介護保険の短期入所生活介護（ショートステイ）の専用ベットを12床設けている。

平成30年度中の利用実人数は、241人。延べ利用日数は、1,569日で、平成29年度より37人、274日の利用源となった。平成30年度の1日平均の利用者は4.30人であった。

月別の利用状況は、次ページの表のとおりである

要介護度別利用者状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

		要支援		要 介 護 度					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	実 人 員	0	0	5	7	3	4	3	22
	延利用日数	0	0	25	36	27	16	18	122
5月	実 人 員	0	0	4	6	4	5	2	21
	延利用日数	0	0	30	23	30	30	10	123
6月	実 人 員	0	0	5	3	4	4	2	18
	延利用日数	0	0	47	9	30	15	5	106
7月	実 人 員	0	0	8	4	5	2	0	19
	延利用日数	0	0	52	16	31	11	0	110
8月	実 人 員	0	0	7	6	7	1	1	22
	延利用日数	0	0	57	21	37	2	2	119
9月	実 人 員	0	0	11	4	7	2	0	24
	延利用日数	0	0	71	14	44	11	0	140
10月	実 人 員	0	0	7	4	7	0	1	19
	延利用日数	0	0	51	17	51	0	2	121
11月	実 人 員	0	0	9	8	5	3	0	25
	延利用日数	0	0	99	34	34	18	0	185
12月	実 人 員	0	0	7	5	5	2	1	20
	延利用日数	0	0	73	28	37	7	2	147
1月	実 人 員	0	1	4	6	6	0	0	17
	延利用日数	0	9	63	27	35	0	0	134
2月	実 人 員	0	1	7	5	3	1	0	17
	延利用日数	0	2	57	22	27	2	0	110
3月	実 人 員	1	1	5	5	3	2	0	17
	延利用日数	2	1	43	44	24	38	0	152
計	実 人 員	1	3	79	63	59	26	10	241
	延利用日数	2	12	668	291	407	150	39	1,569

(11) 「家族通信」の発刊(毎月)

昭和62年8月より、毎月、緑風園「家族通信」を発刊し、家族等に配布し、家族等に対して園の行事等の情報を数多く提供するよう努めている。

(12) ホームページでの情報提供

平成13年6月21日よりWEBサイトに緑風園のホームページを作製しインターネットを通じ全国の方々に園の情報を発信している。平成29年5月には、緑風園のFacebookページを開設し、情報発信をおこなっており、平成30年3月にリニューアルを行いスマートフォン・タブレット端末から見やすいよう専用ページを開設した。さらに、ホームページ上から職員応募や問い合わせが行える機能を設置するなど、職員募集の強化を行った。

在 所 者 集 計 表

平成31年3月31日 現在

<資料 1>

1. 在所者の人数 (人)

在 所 者	9 7	男 性	1 7
		女 性	8 0

<資料 2>

2. 在所者の年齢階層 (人)

	65歳未満	65~70歳未満	70~80歳未満	80~90歳未満	90歳以上	合計	平均年齢(歳)
男 性	0	3	3	8	3	1 7	8 1 . 8
女 性	0	2	1 1	3 4	3 3	8 0	8 7 . 5
計	0	5	1 4	4 2	3 6	9 7	8 6 . 5

<資料 3>

3. 在所者の在所期間

	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	合計	平均在所日数(日)	
	(人)	2 0	1 0	4 2	1 2	8	5	9 7	男
								女	1, 0 1 2 . 7
								計	9 2 8 . 9

<資料 4>

4. 在所者の心身の状況(要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者数) (人)

認知症自立度		寝たきり度	寝たきり度判定基準				計
			ランク J	ランク A	ランク B	ランク C	
認知症は認められない			0	0	0	0	0
認知症 高齢者 自立度 判断基準	ランク I		0	0	0	0	0
	ランク II		0	2	2	4	8
	ランク III		1	1 9	5 2	0	7 2
	ランク IV		0	3	7	7	1 7
	ランク M		0	0	0	0	0
計			1	2 4	6 1	1 1	9 7

<資料 5>

5. 在所者の要介護度

性別\要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	3	2	8	4	17	3.8
女性	0	6	19	29	26	80	3.9
計	0	9	21	37	30	97	3.9

<資料 6>

6. 在所者の入所前居所

	居宅	医療機関	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	認知症対応型	特定施設	他社副施設	その他	合計
男性	6	9	2	0	0	0	0	0	0	17
女性	28	32	3	11	2	3	1	0	0	80
計	34	41	5	11	2	3	1	0	0	97

<資料 7>

7. 各月初日現在入所者数

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	1	4	31	29	34	99
5月	1	5	32	29	33	100
6月	1	7	28	32	32	100
7月	1	7	25	32	30	95
8月	1	7	24	35	32	99
9月	1	8	23	35	31	98
10月	1	8	23	36	28	96
11月	1	6	22	35	33	97
12月	1	7	20	38	34	100
1月	1	6	20	37	32	96
2月	0	7	19	36	33	95
3月	0	8	20	36	32	96
計	10	80	287	410	384	1171

<資料 8>

8. 施設監査等の状況

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

年 月 日	内 容	実施者 (出席者)
定期監査等		
H30. 4. 25	内部監査～法人及び施設運営全般	当法人～片山、猪股両監事
H30. 5. 31	決算審査～一般会計及び特別会計	同上 ～同上
H30. 7. 26	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
H30. 10. 24	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
H31. 1. 30	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
入所判定委員会		
H30. 4. 24	H30年度第1回入所判定委員会	当園～小田総合施設長、永山ニナルカの里施設長、中村施設ケア係長、篠崎主任看護師、宮腰SW、所ケアマネジャー、奥山ニナルカの里SW 当法人～千葉理事長、片山監事 第三者委員～渡部委員、鎌田委員、吉田委員、太田委員
H30. 7. 24	同上 第2回 //	
H30. 10. 23	同上 第3回 //	
H31. 1. 29	同上 第4回 //	

<資料 9>

9. 職員研修・各種講習会・諸会議等への参加状況

(年月日)	(研修等)	(参加・出席者)
平成30年		
4月18日	三愛病院院内研修「新人職員接遇研修会」	CW
4月25日	施設介護実習指導者会議 (北海道福祉教育専門学校)	施設ケア係長
5月30日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
5月31日	理事長特別講演会「千寿会の過去・現在・未来」	SW、CM、CW、事務員
6月 5日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
6月29日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
7月 5日	危険物取扱者保安講習 (登別市)	総合施設長
7月13日	グリーンコート三愛「身体拘束廃止研修会」(グリーンコート三愛)	CW
8月23日	三愛病院院内研修「接遇研修会」	CW
8月27日～28日	日胆地区老人福祉施設職員研究大会 (洞爺湖町)	SW
8月31日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
9月28日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
10月 5日	北海道高齢者虐待防止推進研修会 (札幌市)	CW
10月16日	安全運転管理者講習会 (室蘭市)	管理係長
11月 1日～2日	登別市社会福祉協議会 役員研修会 (池田町・南富良野町)	総合施設長
11月12日	三愛病院院内研修会「インフルエンザ・ノロウイルスの院内対策について」	CW
11月21日	グリーンコート三愛「身体拘束廃止研修会」(ニナルカの里)	CW
11月28日	平成30年度介護保険施設等集団指導 (苫小牧)	総合施設長、事務員
11月30日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
12月21日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長

平成31年		
1月16日	青葉小学校での車椅子寄贈式	総合施設長、事務員
1月24日	三愛病院院内研修「クレーム予防のため接遇～言葉遣い～」	CW
1月25日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
2月18日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
2月22日	日胆地区老施協相談員部会研修会	CM、SW
3月6日	登別市社会福祉協議会研修会「校区のきずなを学び合う会」	総合施設長
3月8日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
3月12日	統一地方選挙 指定病院・福祉施設等不在者投票担当者会議	事務員
3月19日	登別市社会福祉協議会 理事会	総合施設長
3月20日	のぼりべつケアマネ連絡会 公開講演会	CM、SW、CW

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

デイサービスセンター 緑風園

目 次

目次	1
1. 基本的なサービス実施状況	
①生活相談	2
②機能訓練	2
③送迎	3
④健康チェック	3
⑤入浴	3
⑥食事	3
2. その他のサービス実施状況	
①レクリエーション（行事）	3
②サービスの自己評価の実施	4
③平成 30 年度 職員研修等の実施状況	4
④運営推進会議について	4
資料 1 デイサービス事業実績報告書	別紙

1. 基本的なサービス実施状況

①生活相談

通所開始時にはご利用者宅へ訪問し、身体や精神面・家族との関係など、本人や家族のニーズキャッチに努めました。その上で「通所介護計画書」を作成し、これまで同様にサービスの個別対応を行いました。

また、送迎時や来園時、電話連絡の際や必要に応じ訪問し、ご利用者様やご家族様の声を傾聴し、近年多様に変化する利用者ニーズにも柔軟かつ迅速に対応する事を実践し、生きる意欲の向上に努めました。祖に結果、これまで以上に担当ケアマネージャー、他サービス担当者への連絡・報告・相談を密にし、現在の状態や近況報告を伝え、サービス関係者との連携強化を図り、ご利用者様の生活の質の向上に繋がっています。

②機能訓練

確かなニーズに寄り添う機能訓練の実施として、杖や歩行器を使用した実際の歩行訓練を重視しました。

そのうえで、訪問活動によるニーズキャッチ、ご利用者様との相談による計画の立案、センターにてスタッフと本人との体調を考慮しながらの計画実施、デジタル入力、管理による記録、評価、連絡事項によるご家族様や関係機関との連携強化を行い身体能力の維持に努めました。

a) 「歩行訓練」・・・杖や歩行器を使用した実践歩行訓練を行い、下肢筋力維持、バランス感覚の維持、杖の使用や歩行器の安全な使用方法を楽しみながら取り組まれるように配慮しました。歩行訓練は意欲の向上が図れるように会話や声を掛け合い楽しまれるように実践しました。また希望者や必要時には個別に疾患などに合わせた立ち上がり訓練を行い、下肢機能の維持に努めました。

b) 「製作レクリエーション」・・・季節のちぎり絵や折り紙、手形を利用した壁絵等手芸活動を行い、手先の機能維持に努めました。作品は室内に展示し、自宅でも使用できる物を作ることで、活動への意欲向上を図りました。

どなたでも参加されるように入浴前後や昼食後、午後のカラオケの時間を利用し行われました。

c) その他、移動・食事・排泄・入浴・更衣・介護記録、看護記録、連絡帳記載、個別機能訓練記録の各局面において、利用者に必要な支援を自尊心が保たれるように実践しました。

③送迎

送迎は、マイクロバス 1 台、ハイエース 1 台、乗用車 1 台で行い、事故・怪我なく安全にお客様を送迎しました。

送迎による利用者の負担を避けるため、常用時間が 1 時間位を目安とし送迎計画を立て、必要に応じ見直しをしながらコンパクトな送迎を行いました。

④健康チェック

継続的な測定から得られた個々のバイタル傾向とその日の様子・状態から適切な健康指導を看護師中心に行いました。

⑤入浴

温泉入浴によるきめ細かい湯温調整などを行いながら、快適な入浴を楽しまれるように支援しました。

センターにおける入浴は清潔保持・心身のリフレッシュの効果だけではなく、ご利用者様同士の交流の場として、また、スタッフによる全身状態の観察の機会として千寿の湯の効能を十分に活用しました。

また、安全を確保しながら、歩行昨日が低下したご利用者様でも可能な限り一般浴での入浴が行えるように努めました。その上で皮膚のただれ、変色等を発見の際には、電話や連絡帳で家族やケアマネージャーに報告し、疾患や褥瘡の早期発見・対応に努めました。

⑥食事

ご利用者様の意見が給食サービスに反映されるように契約時や来所時に意向を伺い、その都度後本人様の希望に添える食事サービスを提供しました。

a)行事食・・・花見・敬老会・屋外食・クリスマス会の行事の時は季節を感じられるようにし、冬場には（12月、2月）鍋の日として特別メニューの用意を致しております。

b)デイサービス給食会議の開催（必要時）

2. その他のサービス実施状況

①レクリエーション（行事）

誕生会・敬老会・クリスマス会・忘年会等を行い、精神的な活性化を図り、デイサービスが楽しみ場となられるように企画しました。

花見では観光地としての各所見物に加えて、季節感を十分に感じていただけるような外出行事を行いました。

敬老会では地元のボランティア団体の協力により、スラダンスやマンドリン演奏などの演芸を披露されました。

②サービス自己評価の実施

年1回(4月)にサービス自己評価を実施し、現在のサービスの改善点を明らかにし、改善に取り組みました。

③平成30年度 職員研修等の実施状況

- ・該当なし

④運営推進会議について

- ・平成30年10月に開催
- ・今年度装備されず

平成30年度 デイサービス事業実績報告書

デイサービスセンター緑風園

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
要支援1	6	24	8	33	8	29	7	28	8	32	7	23	7	27	8	27	8	24	7	27	7	27	7	27	7	26	88	327
要支援2	12	78	10	70	10	65	10	71	10	72	11	59	10	76	10	76	10	67	10	67	9	49	9	49	10	61	122	811
要介護1	16	98	14	98	15	103	14	109	14	106	15	71	16	128	15	117	15	102	13	82	13	87	14	87	14	87	174	1188
要介護2	13	96	13	106	11	94	10	65	9	79	8	43	6	52	7	58	8	54	7	45	7	50	7	50	7	50	106	792
要介護3	1	8	2	21	4	31	4	37	4	37	4	24	4	34	3	26	2	15	2	14	2	13	2	13	2	14	34	274
要介護4	2	15	2	10	2	11	1	7	1	8	1	6	1	7	1	7	1	8	1	6	1	6	1	7	2	14	16	106
要介護5	1	3	1	2	1	2	1	3	1	3	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	18
小計	51	322	50	340	51	335	47	320	47	337	47	229	45	326	44	311	44	270	40	241	39	233	42	252	42	252	547	3516
開所日数	20	20	21	21	21	21	21	21	23	23	16	16	22	22	21	21	19	19	19	19	19	19	19	20	20	20	242	242
1日平均 利用数	16.1	16.1	16.2	16.2	16	16	15.2	15.2	14.7	14.7	14.3	14.3	14.8	14.8	14.8	14.2	14.2	14.2	12.7	12.7	12.2	12.2	12.6	12.6	12.6	14.5	14.5	

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里

目 次

1. 事業の概況	1
(1) 事業種類	1
(2) 事業規模	1
2. 事業の実施状況	
(1) 生活援助	1
(2) 個別支援	2
(3) 健康管理	2
(4) 生活環境への配慮・衛生管理	2
(5) 会議開催状況	2
(6) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施	2～3
(7) 「家族通信」の発刊（毎月）	3
(8) ホームページでの情報提供	3
<資料 1> 1. 在所者の人数	4
<資料 2> 2. 在所者の年齢階層	4
<資料 3> 3. 在所者の在所期間	4
<資料 4> 4. 在所者の心身状況（要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者）	4
<資料 5> 5. 在所者の要介護度	5
<資料 6> 6. 新規入所者の入所前居所	5
<資料 7> 7. 各月初日現在入所者数	5
<資料 8> 8. 職員研修・各種講習会・諸会議への参加状況	6

緑風園サテライト型特別養護老人ホームニナルカの里の事業運営については、入居者様一人ひとりの意思及び人格を尊重し、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者様が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営めるよう、施設サービス計画に基づき個別ケアの実践に務めました。また、地域社会に関かれ、地域に根差した施設の運営を行うべく取り組んでまいりました。

1 事業の概要

(1) 事業種類

ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設
単位入所生活介護（予防含む）

(2) 事業規模

定員：地域密着型特別養護老人ホーム（29名）

短期入所生活介護（11名 ※内1名は緊急ショートステイ）

ユニット区分（ひなげし・りんどう・すずらん・ふくじゅそう 各全室個室10名）

2 事業の実施状況

(1) 生活援助

①食事

給食サービスを日清医療食品㈱に外部委託し、個々の状態に合わせた食形態を提供できるようにしました。また、各ユニット内でご飯・お粥を炊飯し味噌汁をすることにより、食事を準備する音や匂いで家庭的な雰囲気を演出したり、入居者様に盛り付けや下膳の手伝いをさせていただくことにより、入居者様の生きがいの創出ができるよう取り組みました。

②入浴

入浴回数は一人につき週2回以上とし、本人の希望により入浴できるようほぼ毎日入浴を実施しました。また、個浴での対応を基本として、プライバシーに配慮しゆっくり入浴を楽しんでもらえるよう心掛けました。個浴での対応が困難な方においては車椅子対応の中間浴、特浴にて対応し、安全に安心して入浴ができるよう努めました。体調不良などで入浴できないときは清拭を行うことで衛生保持に務めました。

③排泄介助

排泄リズムの把握をし、一人ひとりに合った排泄介助の検討を行い、入居者様がより快適に過ごすことができるよう努めました。

④自分らしい生活

個々人の生活のリズムを大切にし、本人の意思を確認しながら支援に努めました。また、入居者が自由で自分らしい生活が送れるよう、声掛けや行いたいことのサポートをすることに努めました。

⑤レクリエーションの実施

毎月個人の誕生日に各ユニットで誕生会を行いました。また、ボランティアや地域の老人クラブ保育所の園児との交流会や、ユニット毎におやつ作りやカラオケ、的当てゲーム、麻雀などを行いました。

また、刈田神社のお祭りを見に行くなどしましたが、外出行事はあまり開催できず、施設のお祭りも開催することができなかつたため、次年度はぜひ実施したいと考えています。

⑥災害・事故防止

当施設の玄関は非常警報と連動した電気錠となっており、ナースコールの受信をPHSで行える設備、各出入口を確認できる防犯カメラを設置することで、防災と防犯、入居者様の安全確保を図るとともに、防災訓練を定期的に行い、入居者様が安心して暮らせるよう取り組んでいます。

(2) 個別支援

個別のケアプランについては、MDS-LAPS2.1を用いて作成し、定期的にモニタリングを行うとともに、24時間シートを活用し、個別性のあるサービスを提供できるように取り組んできました。

(3) 健康管理

入居者が心身ともに健康で充実した日常生活が送れるように、協力病院である三愛病院との医療業務委託契約により定期的な回診（精神科医師：週1回、内科医師：週1回）、必要時に応じて随時、歯科医師による月1回の往診と口腔ケア指導を実施して健康管理を行いました。また、インフルエンザなど感染症の流行時期には、入居者様・職員に対し予防接種を実施するとともに、面会者に対しても手洗い、うがいの励行とマスクの着用をもって感染予防に努めました。

(4) 生活環境への配慮・衛生管理

居室はプライベートスペースとして、馴染みの家具などを持ち込んでいただき気兼ねなくゆっくり過ごしていただけるよう配慮に努めるとともに、食堂やリビングの共有スペースでは、入居者様同士が楽しく交流できるよう取り組みました。また、各階のエレベーター前のラウンジには、椅子テーブルを配置し入居者様が気軽に過ごしたり、御家族との面会時に利用していただいております。

施設内の清掃については、クリーンビル開発株式会社と清掃業務委託契約を行い、清潔な生活環境の整備を図り衛生管理に努めました。

(5) 会議開催状況

施設の運営や管理、サービスの向上、情報共有のため、毎月全体会議・給食会議・感染対策委員会・リスクマネジメント委員会・身体拘束廃止委員会を開催するとともに、また、地域に開かれた施設運営とサービスの質の確保を目的に地域代表者等を委員とし、運営内容について地域から広く意見・助言を求めため運営推進会議を2カ月に1回開催しました。

(6) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施

短期入所生活介護（ショートステイ）の居室を11室設けており、その内1室は緊急ショートステイ専用の居室になっており、ケアプランに計画されていない場合でも緊急にショートステイが必要な場合に利用できる居室を確保しています。

平成30年度は、4月にニナルカの里が開設し、ショートステイは6月から受け入れを開始しました。

6月からの利用実人数は225人。延べ利用日数は1,524日となっています。平成30年度の1日平均利用者は5.3人でしたが、現在は1日平均約6~7人で推移しています。

（※3ページ、要介護度別利用状況表参照）

ショートステイ要介護度別利用状況表

平成30年4月1日～平成31年3月31日

		要支援		要介護度					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	実人員	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	実人員	0	0	4	0	0	1	2	7
	延利用日数	0	0	39	0	0	4	4	47
7月	実人員	0	0	7	2	2	2	2	15
	延利用日数	0	0	25	7	21	22	6	81
8月	実人員	0	2	11	3	1	2	2	21
	延利用日数	0	4	69	13	8	14	6	114
9月	実人員	0	1	12	4	3	3	4	27
	延利用日数	0	3	59	22	16	13	16	129
10月	実人員	0	2	8	5	4	4	3	26
	延利用日数	0	14	51	30	34	46	19	194
11月	実人員	0	1	9	6	2	4	3	25
	延利用日数	0	3	47	56	6	17	21	150
12月	実人員	0	1	11	7	2	2	3	26
	延利用日数	0	2	94	46	31	7	20	200
1月	実人員	1	0	9	4	3	3	3	23
	延利用日数	3	0	84	48	30	22	20	207
2月	実人員	0	1	7	4	6	4	3	25
	延利用日数	0	5	76	29	34	22	16	182
3月	実人員	0	3	7	7	6	4	3	30
	延利用日数	0	10	75	76	25	13	21	220
計	実人員	1	11	85	42	29	29	28	225
	延利用日数	3	41	619	327	205	180	149	1,524

(7) 「家族通信」の発刊

開設より時間がたってしまいましたが、平成30年12月より毎月、家族通信として「ニナルカの里通信」を発刊し、家族等に配布し、施設の行事や入居者様の様子等の情報を数多く提供できるよう努めている。

(8) ホームページでの情報提供

平成30年4月1日より、本体施設である緑風園のホームページ内にニナルカの里のページを作成し施設の情報を発信しています。ホームページ内では行事や活動のトピックス、ニナルカの里通信、パンフレット等の閲覧や、オンラインでの入所申込、ショートステイの空き状況、料金表の確認の他、運営推進会議の議事録を閲覧することができます。

在 所 者 集 計 表

平成31年3月31日 現在

<資料 1>

1. 在所者の人数

(人)

在 所 者	29	男 性	13
		女 性	16

<資料 2>

2. 在所者の年齢階層

(人)

	65歳未満	65～70歳未満	70～80歳未満	80～90歳未満	90歳以上	合計	平均年齢(歳)
男 性	0	2	1	6	4	13	84.0
女 性	0	0	2	4	10	16	88.6
計	0	2	3	10	14	29	86.5

<資料 3>

3. 在所者の在所期間

	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	合計	平均在所日数(日)	
	(人)	5	24	0	0	0	0	29	男
								女	265.0
								計	278.9

<資料 4>

4. 在所者の心身の状況(要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者数)

(人)

認知症自立度		寝たきり度	寝たきり度判定基準				計
			ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	
認知症は認められない			0	0	0	0	0
認知症 高齢者 自立度 判断基準	ランク I		0	0	1	0	1
	ランク II		0	5	5	1	11
	ランク III		0	5	9	0	14
	ランク IV		0	0	1	1	2
	ランク M		0	1	0	0	1
計			0	11	16	2	29

<資料 5>

5. 在所者の要介護度

性別\要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0	2	6	4	1	13	3.31
女性	0	2	8	5	1	16	3.31
計	0	4	14	9	2	29	3.31

<資料 6>

6. 在所者の入所前居所

	居宅	医療機関	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	認知症対応型	特定施設	他社福祉施設	その他	合計
男性	5	3	1	3	0	0	0	0	1	13
女性	6	6	1	1	0	0	0	2	0	16
計	11	9	2	4	0	0	0	2	1	29

<資料 7>

7. 各月初日現在入所者数

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	0	0	1	0	0	1
5月	0	5	7	8	1	21
6月	0	7	10	9	1	27
7月	0	8	11	9	1	29
8月	0	6	11	10	1	28
9月	0	4	12	10	1	27
10月	0	4	12	11	3	30
11月	0	4	11	12	3	30
12月	0	5	12	9	3	29
1月	0	5	12	10	3	30
2月	0	5	12	9	2	28
3月	0	5	13	9	2	29
計	0	58	124	106	21	309

<資料 8>

8. 職員研修・各種講習会・諸会議等への参加状況

(年月日)	(研修等)	(参加・出席者)
平成30年		
4月18日	三愛病院新入職員接遇研修会	CW、事務員
5月25日	排泄ケア勉強会（白十字）	CW
5月31日	理事長講演会「千寿会の過去・現在・未来」	施設長、SW、CM
6月29日	三愛病院院内研修「医療安全・医薬品安全研修会」	NS
7月13日	グリーンコート三愛「身体拘束廃止研修会」（グリーンコート三愛）	施設長、CW
7月23日	地域包括支援センター主催「ケアマネ勉強会」	SW、CM
8月4日	床ずれ対策セミナーin札幌	CW
8月18日	アーンズ医療相談・講習会 講師	施設長
8月23日	三愛病院院内研修「接遇研修」	CW、事務員
8月27日～28日	日胆地区老人福祉施設職員研究大会（洞爺湖町）	CW
10月2日	北海道福祉教育専門学校 社会福祉主事現場実習講義 講師	施設長
10月12日	認知症サポーター養成講座（ニナルカの里）	CW、事務員
11月1日	三愛開院記念日講演会「病院内の自殺事故予防と事後対応」	施設長、SW
11月9日	「高齢者の口腔ケア」研修（登別市）	CW
11月12日	三愛病院院内研修「感染対策研修」	NS、CW
11月21日	三愛病院院内研修「医薬品安全研修」	NS
	グリーンコート三愛「身体拘束廃止研修会」（ニナルカの里）	施設長、CW
	日胆地区老協相談員研修会（室蘭市）	SW
11月28日	介護保険集団指導（苫小牧市）	SW
12月10日～11日	主任介護支援専門員研修（札幌市）	CM
12月10日	全国高齢者施設看護師会研修（札幌市）	NS
1月17日～18日	主任介護支援専門員研修（札幌市）	CM
1月24日	認定調査員現認研修（室蘭市）	CM
2月5日	三愛病院院内研修「行動制限最小化研修会」	施設長
2月11日～13日	主任介護支援専門員研修（札幌市）	CM
2月15日	虐待対応に関する勉強会（登別市）	施設長、SW
2月22日	日胆地区老協相談員部会（登別市）	SW
2月23日	施設ケアマネジメント研修会（札幌市）	SW
3月7日	三愛病院院内研修「個人情報保護法研修会」	施設長
3月11日～13日	主任介護支援専門員研修（札幌市）	CM
3月13日	のぼりべつケアマネ連絡会 公開講演会（室蘭市）	施設長、SW、CW、CM、事務員
3月25日	三愛病院院内研修「感染対策研修会」	NS、CW

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

緑風園居宅介護支援事業所

目次

要介護度別利用者の状況・・・・・・・・・・	<1>
月別施設入所等移動数・・・・・・・・・・	<1>
月別介護サービス利用状況・・・・・・・・・・	<2>
月別予防サービス利用状況・・・・・・・・・・	<2>
平成30年度事業報告・・・・・・・・・・	<3>

* 要介護度別利用者の状況 (平成30年度 実績数)

	要支援			要介護					
	1	2	計	1	2	3	4	5	計
4月	1	3	4	16	15	4	3	0	38
5月	1	3	4	17	10	5	3	0	35
6月	1	2	3	19	8	7	3	1	38
7月	1	2	3	21	9	7	3	1	41
8月	1	2	3	19	10	7	3	1	40
9月	1	2	3	17	10	5	3	1	36
10月	1	2	3	19	10	6	3	1	39
11月	1	2	3	17	10	6	3	1	37
12月	1	2	3	19	11	4	3	1	38
1月	1	2	3	16	10	6	4	1	37
2月	1	2	3	19	12	4	6	1	42
3月	1	2	3	25	11	4	5	1	46
計	12	26	38	224	126	65	42	10	467

※平成30年4月～平成31年3月迄、利用終了となった事由として

・施設入所	13名	
・長期入院	7名	
・GH入居	1名	
・転出	2名	
・死亡	2名	計 25名

* 月別施設入所等移動数 (平成30年度)

	特養・老健	グループホーム	療養型医療施設
4月	2		
5月	2		
6月			
7月	2		
8月	1		1
9月			1
10月	1		1
11月	1		
12月			
1月	1		
2月	2		4
3月	1		
計	13	1	7

* 月別介護サービス利用状況 (平成30年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問介護	10	9	8	9	7	7	9	5	6	9	8	13
訪問看護	6	6	7	7	6	5	6	7	6	6	6	9
訪問リハビリテーション	2	2	3	3	4	4	2	5	4	4	3	6
通所介護	10	10	10	12	12	13	13	16	16	16	16	20
地域密着型通所介護	18	18	18	17	16	15	14	15	14	13	13	12
通所リハビリテーション	6	6	7	7	7	6	8	6	7	7	6	5
短期入所生活介護	9	7	6	9	8	7	7	6	3	6	6	7
短期入所療養介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
福祉用具貸与	14	15	17	17	15	15	16	17	18	21	20	21
訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

* 月別予防サービス利用状況 (平成30年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
地域密着型通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所リハビリテーション	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期入所生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期入所療養介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具貸与	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

平成30年度 事業報告

*ケアプラン作成…課題分析方式については、居宅サービス計画ガイドラインで行った。

*サービス担当者会議…認定更新時、ケアプランの見直し等において専門的な見地から意見を求めるため、指定居宅サービス事業所等の担当者と連絡調整を行い、利用者宅または事業所にて会議を開催した。

*主治医との連携…ケアプラン作成において主治医の見地が必要な場合、当該病院へ訪問し主治医と面談、またはMSWとの連携等により情報収集および共有をした。

*ケアプランの実施状況等を把握し、計画の変更等利用者が求めるサービスが提供されるよう、特段の理由がない限り、月に最低一度は必ず訪問を実施した。

*モニタリングについて…事業所や利用者、家族からの情報をもとに、課題の把握と達成度をケアプラン・マネジメント評価表としての記録を実施した。

*研修会等の参加

- ・のぼりべつケアマネ連絡会 (4/27・5/25・9/14)
- ・三市一町ケアマネ合同研修会 (11/17)
- ・登別市介護支援専門員実務者ネットワーク交流会 (5/17・11/13)
- ・登別市障害者自立支援審査会 (5/22・7/24・9/25・1/22・3/26)
- ・市町村審査会委員研修 (5/29) ・福寿草の会 (6/15・8/16)
- ・登別市ケアマネ勉強会 (7/23) ・登別市包括支援センター事例検討会 (11/15)
- ・主任介護支援専門員研修 (12/10～11・1/17～18・2/11～13・3/11～13)
- ・登別市介護支援専門員研修会 (12/12) ・平成30年度認定調査員現任研修 (1/24)
- ・白老町ケアマネジャー連絡協議会 (3/15) ・多職種連携セミナー (3/20)

*認定調査について、各市町村からの委託を受け実施した。

- ・札幌市～6月：1件
- ・登別市～11月：4件、12月：4件、1月：6件、2月：6件、3月：5件
- ・洞爺湖町～3月：1件